

2018年度の 法人運営の 大きなポイント

3つのステーション構想 (専門職の集中化)

訪問看護に看護師、デイサービスに理学療法士（PT）、厨房に管理栄養士、調理士を集中し、サテライト事業所に支援をしていく。集中と分散で効率化と総合力UPを目指す。



社会福祉法人近江ちいろば会 ログマークとコンセプト



人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい
OMI CHIROBAKAI
社会福祉法人 近江ちいろば会

ロバがまっすぐ前を向いて、「輝き」を乗せて歩んでいます。これはスタッフが、利用者様が生きがいや人間らしさを失わずに生きることをサポートすること（お仕事）に誇りと愛情を持っていることを表現しています。また、周囲を囲む菩提樹の葉は環境の良さを表現すると共に「CHIROBAKAI」の「C」を形取っています。クラシックで上品なデザインです。

平成29年度 (第10回) 業務改善活動成果発表会

近江ちいろば会では、平成20年から業務改善活動に取り組み始め、平成29年度で10年となります。発表会には、地域や行政の方々なども参加して頂き、高齢者介護の現状や職員の取組みについて、ご意見や助言など広くいただいています。

平成29年度は、11事業所が、一年間にわたって取り組んだ成果を発表しました。

表 彰	事業所名	テーマと概要
近江ちいろばQC大賞	ぼだいじデイサービス虹	個別訓練による在宅生活の質の改善効果を測定
グッドパフォーマンス賞	グループホームぼだいじ	日常生活における自立支援の取り組み。できることを増やす
ハイパフォーマンス賞	小規模多機能 みんなの家	機能訓練の評価。機能訓練を筋肉強化と生活機能強化に生かす
オーディエンス賞	デイケアの家 おしどり	ご利用者の足の苦痛を軽減する取り組み

～ピスガからの風 第48号～

社会福祉法人 近江ちいろば会

4 月入 職 者 の 紹 介

平成30年度は岐阜県出身の新卒者1名、さらに理学療法士、看護師、調理師の専門職6名の方が当法人の仲間として加わって頂きました。

前列 左から 寺田 竜也さん(PT、デイサービス虹)、森口理事長、北脇 康史さん(厨房)
後列 左から 新卒 大野 未紗紀さん(グループホームぼだいじ)、西村 優子さん(訪問看護)、今井 朋代さん(本部)、福井 恵美さん(小規模多機能)、吉田 みどりさん(グループホームみなくちみんなの家)



ブランディング向上への取り組み

ブランド構築のステップ 近江ちいろば会は素晴らしい、
～地域での暮らしを支え続ける介護・医療サービスの提供～

利用したい／働きたい

魅力ある法人NO.1
介護職はクリエイティブな仕事

発信力向上
HP、SNS活用

コンセプト再構築

法人コンセプトの明確化
私たちの提供価値の明確化
キーメッセージ
キーカラー
オリジナルロゴ作成

就活向けキーワード
学生向けネット活用
就活用パンフレット作成
HPの刷新、SNS活用による
情報と魅力の発信を強化

全職員がキーコンセプト
を理解し発信できる。
誇りを持った仕事ができる
先進的な知識、技能の習得
次世代リーダーの育成

専門性、先進性を発揮

未来の人材へ訴求

素晴らしい職員
によるケア

環境とケアは
両輪在宅中心
地域に根差す

素晴らしい環境

街なかディ、昔懐かしい建物、
緑あふれる。直営の厨房

JOKATSU 女性が活躍する職場として ご紹介いただきました。

平成29年10月、湖南省人権擁護課が創刊された「JOKATSU(ジョカツ)」(発行部数5,000部)に当法人の女性職員の仕事と家庭の両立ぶりが紹介されました。登壇いただいた高吉瑠美子さん(介護福祉士)は、現在、お二人目の子どもさんの育児休業中ですが、休業後も復職頂く予定となっています。



寄付金・後援会費 感謝報告

2017年9月11日～2018年3月31日現在
(順不同・敬称略)

昨年度、皆様からいただいた後援会費より1,134千円を新たにホームページを作成する費用に充当させていただきました。

法人の全体像がよりわかりやすくなり、又職員募集にも活用できるようになりました。ありがとうございました。

これからもご支援の程お願い申し上げます。

岩井 敏子
増井 武彦
大野 佳子
藤井 美代治・淑子
眞壁 日史郎・泰子
大山 孜郎・悠子
とみおか内科クリニック
扇田 紀子
西川 泰子
西村 泰平
中田 匡美
信愛幼稚園
伊藤 道子
松平 吉生・千鶴子
早井 薫
脇坂 照世
日本基督教団水口教会 水口こどもの教会
日本キリスト教団京都丸太町教会 シオン会
森口 茂



事業内容

ケアハウス ピスガこうせい／ぼだいじデイサービスセンター／ぼだいじホームヘルプステーション／ぼだいじ居宅介護支援センター／グループホームぼだいじ／中央デイサービスしんあい／小規模多機能型居宅介護 ぼだいじみんなの家／みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター)／ぼだいじ訪問看護ステーション／デイケアの家おしどり／ゆめとまの家おしどり

ピスガからの風 第48号

2018年5月

社会福祉法人 近江ちいろば会
ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900(代表)
FAX.0748-74-3910
http://chiiroba.jp/

理事長挨拶



世界情勢、国内情勢も不安定で、その上少子高齢化で働き人が少なくであらゆる業界も人手不足、社会保障費の増大で日本の収支は大ピンチ。多くの方々は、将来の見通しが立たないので現状を守ろうと保守的に守りに入っています。自己中心的な考えが世の中に蔓延しているのではないだろうか。

そのような中、1937年に吉野源三郎氏が記した「君たちはどう生きるか」が100万部を超えるベストセラーになっていま

理事長 森口 茂

す。私も読んでみて、新鮮で生きる目的を改めて考えさせられました。今、生きる目的が問われているのでしょうか。
＊自分の受けている幸せが、めったにあるものじゃないと思えばこそ、我々はそれに感謝する気持ちになる。
＊暮らしは多くの方々との「網の目の法則」で、繋がりが合っている。自分の幸福ばかりを追求することは間違ったことである。etc.
私も初心に戻る機会になり感謝しています。事業所に備え付けの本を購入し、多くの職員に読んでほしいと願っています。

「老いという個性に寄り添う」

評議員 望月 修治 氏 (同志社教会牧師)

ことを積み重ねて来ました。

ケアハウス、グループホーム、デイサービス、ホームヘルプステーション、居宅介護、通所介護、移送サービスなど、本部を含めて21の活動部門で事業が行われています。それぞれの事業活動部門では業務改善活動が行われ、毎年報告書にまとめられて各事業部門間で共有されています。その報告書には利用者や入居者の皆さんの多様な状況に寄り添い、お一人お一人の生活を支えるべく、気づいたこと、改善したいこと、あるいは「Aさん、歩行の機会を作ること」というように細かなスタッフの確認事項も含まれています。このような日々のケアが行われることが、近江ちいろば会のサービスを用いてくださっているみなさんを支援する基盤となっています。

私の義母は今ケアハウス「ピスガこうせい」でスタッフの皆さんに支えていただきながら、毎日の生活を送っています。老いを迎えた者に寄り添う家族には、さらにその家族の思いに寄り添って支え励ましてくださる存在が必要だと思います。近江ちいろば会のスタッフのみなさんは、入居者・利用者の皆さんのことはもちろんですが、その家族をも支える介護のプロフェッショナルです。

近江ちいろば会の動きは、支援してくださる方々の励ましに支えられてこそ、明日に向かうことができます。あたたかなご支援をこれからもお送りいただけたら、それは近江ちいろば会への何よりの贈り物です。よろしく願いいたします。



人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい
OMI CHIROBAKAI
社会福祉法人 近江ちいろば会

(福)近江ちいろば会の事業体系

一在宅介護と認知症ケアに重点をおいた質の高いケア

湖南省エリア

ケアハウス ピスガこうせい	ぼだいじ デイサービスセンター 虹	デイサービス ゆめとまの家おしどり	ぼだいじホーム ヘルパーステーション
グループホーム ぼだいじ	共用型 デイサービス	デイサービス デイケアの家おしどり	障害福祉ホーム ヘルパーステーション
小規模多機能型 ぼだいじみんなの家	総合事業 るんるんクラブ	認知症デイサービス いこい	ぼだいじ 訪問看護ステーション
ぼだいじ 居宅介護支援センター	総合事業 ふれあいの家おしどり	認知症デイサービス しんあい	ちいろば 移送サービス

甲賀市エリア

ケアプランセンター みなくち みんなの家	グループホーム みなくち みんなの家	デイサービス みなくち みんなの家
-------------------------	-----------------------	----------------------

各事業所の 取り組み紹介

ぼだいじデイサービスセンター虹

メンバーの特徴

理学療法士・看護師・歯科衛生士と介護職員が連携し、的確なアセスメントによる、その方の在宅の生活が充実できますように支援いたします。

2017年度の取り組み

理学療法士1名加入により機能訓練Ⅰ開始。立ち上がり・歩行バランス等の効果測定・日常生活動作の前後比較では8割以上が維持向上。

2018年度に向けて

理学療法士2名体制により機能訓練ⅠとⅡを行います。
活動プログラムを充実し、運動と楽しみがあるデイサービスを目指します。

チーム力向上に向けて

職員の誕生お祝い。日々のミーティング、面談等、職員同士の対話の時間を増やし情報の共有と連携を強化します。



ぼだいじ居宅介護支援センター

メンバーの特徴

看護師、社会福祉士、介護福祉士の多角的な専門的視点から、きめ細かく的確な支援を行っています。

2017年度の成果

コミュニケーションをしっかりと取り、チーム力とネットワークを活用して、その人らしい自立支援に向けた相談支援が展開できました。主任ケアマネジャー配置による特定事業所として、質の高いケアマネジメントへのスキルアップにも日々取り組んでいます。

2018年度の方針

地域の方に真っ先に選んでいただける事業所を目指します。
エンパワメントを引き出せる相談援助のもと、わかりやすく納得いただけるケアプランを作成し

チームワーク向上への取り組み

気が付いたことを気軽に話し合える事業所、お互いを尊重し合い、意見交換を活発にしながら絶えず成長していく事業所を目指します。



ケアハウス ピスガこうせい

メンバーの特徴

個性豊かで結束力があり、お互いの仕事をカバーしあうことが出来る。また、気配りができる職員の集まり。

2017年度の取り組み

いつまでも自分らしい生活を送っていただけるよう、ボランティア活動を中心とした自立支援を行ってきました。

2018年度に向けて

小規模サークル活動を増やし、より多くの方に目標を持ちつつ充実した生活をしていただけるようにします。

チーム力向上にむけて

職員間で今年の目標方針を周知徹底するために、年2回の全体会議を実施する。
介護に必要な医療知識を看護師から学び合う。



グループホームぼだいじ

メンバーの特徴

幅広い年齢層を持ちながら、元気ハツソウ 前向きで明るい職員達です。

2017年度の取り組み

- 共用型デイサービスのご利用者様をスムーズな入居に繋げる事ができ、また入居後のリロケーションダメージなくお過ごしいただけました。
- 近江八幡休暇村で、ご家族と共に楽しんでいただくお食事を開催しました。
- 地域交流として北山台地区の夏祭りに参加し模擬店を出店させていただきました。
- ご家族と共に2名の看取りが行えました。
- 「自立支援」をテーマにした業務改善活動委員会での発表で高評価をいただきました。

2018年度の取り組み

- 看取り介護の経験を活かし、医療との連携体制を強化し、安心して暮らせる環境作りを致します。
- 自立支援に力を注ぎ「出来る事を奪わない」「出来る事を増やす」取り組みをいたします。
- 地域との繋がりとして北山台地区の夏祭り参加や、ひかり幼稚園との交流を目指します。
- 職員は目的を共有し、喜びを共有できアハの呼吸で成果を出していきます。



小規模多機能型居宅介護事業所 ぼだいじみんなの家

メンバーの特徴

まじめで熱心な職員が揃っています。
ご利用者様だけでなく、ご家族のことも考えてケアができるチームです。

2017年度の取り組み

ご利用者一人一人に合った個別の体操を提供しました。
お寿司/バイキングを通し、地域のお店との交流ができました。

2018年度に向けて

自立支援と機能訓練を更に深め、新たに自立支援の三本柱「美化」「園芸」「体操」を確立させていただきます。

チーム力向上の取り組み

職員一人一人の気づきをケアに活かし、ご利用者の状態に合わせた柔軟な支援ができる事業所を目指します。



るんるんクラブ

メンバーの特徴

新たなスタッフも加わり、今まで以上に楽しく過ごせる介護予防やご自分でできることを長く継続できるような自立支援を考えるメンバーです。

2017年度の取組

みんなで集って いきいき元気に るんるん楽しくを合言葉に、利用者様と職員が、笑顔で過ごすことが出来ました。

2018年度に向けて

お一人おひとりの方とのかかわりを増やすことにより、「るんるんに来ると元気になるわ～」と言っていたいただける事業所になります。

チーム力向上に向けて

利用者の皆様の理解を職員が行い共有し、利用者様も職員も笑顔になれる関係性を作ります。また、研修の機会を設けてレベルアップも図ります。



ぼだいじ訪問看護ステーション

メンバーの特徴

みんな明るく、元気なスタッフです。新しいメンバーも増えさらにパワーアップしていきます！

2017年度の取り組み

ぼだいじ訪問看護ステーションを知ってもらうために広報活動を行いました。また、自己研鑽のための様々な研修に参加しました。

2018年度に向けて

訪問看護のプロフェッショナル目指して頑張ります！

チーム力向上に向けて

なんでも相談し合い、力を合わせて問題解決していけるようコミュニケーションをとっていきます。



ゆめとまの家おしどり

メンバーの特徴

私たちが優しくして力(パワー)持ち(^^)日々、コミュニケーションを心がけながら一つひとつに心込めて活動しています。

2017年度の取り組み

「ゆめとまに行ったら良かった元気になれる」を目標に、お一人おひとりのとの関わりを大事に活動しました。

2018年度に向けて

「身体・脳・お腹いきいき・そして心活き生き」を目指して、心通い合って頼りにされるようがんばります！

チーム力向上に向けて

「意見を言い合って主体的に行動する」を目標に、常にお互いのコミュニケーションをよくするよう心がける。



ふれあいの家おしどり

メンバーの特徴

それぞれの個性・特技・才能を発揮し、お互いの足りないところを補い合えるメンバーです。

2017年度の取り組み

目的を持ったお出かけをみなさんと計画し、実施しました。
太極拳やコグニサイズなどの健康体操に取り組み、健康を考える「学びの会」も開催しました。

2018年度に向けて

一人ひとりに応じた自立・自律支援を目指した活動を行っています。

チーム力向上に向けて

職員同士がお互いの能力を認め合い、尊重し合える関係や話し合える関係を、これからも築いていきます。



デイケアの家おしどり

メンバーの特徴

それぞれの個性・特技・才能を発揮し、お互いの足りないところを補い合えるメンバーです。

2017年度の取り組み

台ふさんを皆さんと作り、地域の保育園に持って行ったことがきっかけで、保育園の園児さんと交流を持つことができました。
作品展を開催し、家族様、地域の方々、ケアマネジャー、ボランティアさんなど多くの方に作品展を見に来ていただくことができました。

2018年度に向けて

沢山の選択枝の中から、ご自身が選んだ生活リハビリをすることで、自立支援・自律支援を目指します。 機能訓練Ⅱを習得します。



中央デイサービスセンター しんあい

メンバー特徴

1番の前向きな気持ちを忘れずに「明るく!楽しく!元気!」をモットーに、お一人おひとりと向き合うことを大切にしていきたいメンバーです。

2017年度の取り組み

1番の成果として、創立10周年をご家族様ボランティア様はじめ皆様と共に祝福することができたことです。多くの皆様のご支えがあったことを改めて感じる年でありました。

2018年度の取り組み

新しいメンバーも加わりフレッシュな気持ちと共に、地域の皆様との交流を通して地域に密着した取り組みにトライしてまいります。特に、相談援助ができる事業所として力を入れていきたいと思います。



チーム力向上に向けて

認知症の症状を正しく理解するとともに、お一人おひとりの心身の理解も含め全体像の理解に努められるように研修を積み重ねていきます。



ぼだいじデイサービスセンターいこい

メンバーの特徴

任せて安心、多芸多才な職員たちが集まっています。

2017年度の取り組み

- 元気で長生きできるデイサービスとして、現状維持を目標に利用者様も家族様も笑顔で在宅生活が送れるよう体操や脳トレーニング等に頑張ってきました。
- 夏祭りに参加させて頂き地域との交流をさせて頂きました。
- 5月にバザーを行いご利用者様と一緒に出店の楽しい時間が持てました。

2018年度に向けて

「本人と共に、認知症を抱える家族のケアもして

くれる事業所」と言われるようにチーム向上を目指します。

チーム力向上に向けて

職員間の様々な会話を増やし、観察力・判断力を養い、笑顔溢れる職場にします。



ぼだいじホームヘルパーステーション

メンバーの特徴

30代から60代の幅広い年齢層で、全員女性! 15名それぞれの得意分野が違い、どのヘルパーも魅力タップリ!

2017年度の取り組み

春にバザーを行ったり、夏祭りに参加したりと、地域の方とに交流を深める機会になりました。

2018年度に向けて

「どのヘルパーが来ててもいいね」と言われるような事業所をを目指すために、心温まる対応をしています。

チーム力向上にむけて

情報交換・報連相を確実に行っていけるように、毎月のミーティングは皆で話し合えるようにしたい。



グループホーム みなくち みんなの家

メンバーの特徴

アットホームで若い職員がいきいきと働けるところです。

2017年度の取り組み

- 22区防災訓練や防火訓練に参加
- 高齢者レストラン「歳の香」の参加
- 21区ご近所福祉活動で、認知症やみんなの家の説明を行うことができた。
- 水口高校の生徒に「みんなの家」の事を知ってもらう事が出来た(11月 1年生 1クラス)
- ユニット会議でもとときシートを導入し、根拠のあるケアに繋がっている。
- 甲賀市地域ケア会議や綾野学区地域ケア会議に参加。

2018年度に向けて

「みなくちみんなの家」が「水口にあるから安心だ」と言われない。



ケアプランセンターみなくちみんなの家&調理室

メンバーの特徴

昨年に引き続き児童、障害、高齢等多分野で経験してきたケアマネジャーが地域の皆様のご支援、ご相談のお手伝いをさせていただきます。町の中にありますので、気楽にお立ち寄り下さい。

みなくちみんなの家 調理室の紹介

毎日手作りの美味しい料理を提供しています。
夏祭りに提供している、手作りのちらし寿司は、毎年参加して下さいる近所の方がごよりも美味し

い」と評判です。

利用者も職員もみんなの家の食事が大好きです。



厨房

メンバーの特徴

みんながそれぞれの分担を越えて助け合い励ましあい、ひとりひとりがオールラウンドプレイヤーです。そして嬉しかったことよかった事を伝え合う事のすばらしさを教えてくれる、そんなメンバーです。

2017年度の取り組み

2017年は変革の年であり、外に向かっていた関心を一度、内に向けて厨房内をみんなが俯瞰して考えてみようという取り組みをいたしました。結果内在していた問題点やもとのぼしていく点などの発見につながりました。

2018年度に向けて

厨房では2018年度は調理を通して地域に貢献

できるように広く栄養指導等を広めていきたいと思っています。

チーム力向上に向けて

厨房内ではみんなが一人の為に、また一人がみんなの為に思いやりをもって業務に携わっていきたいと思っています。



法人本部

メンバーの特徴

新たなメンバーも加わり、心機一転、それぞれが責任をもって専門分野を全うするユニークな集団です。

2017年度の取り組み

不変の決意を込めたロゴマークの一新やホームページ、パンフレットのリニューアルに取り組み、近江ちいろば会のブランディング強化と発信力向上に取り組みました。

2018年度に向けて

職員間の綿密な業務連携による協業体制を継続し、各事業所の目標達成に寄与できるよう運営支援と収益確保のために的確な情報提供に努めます。

チーム力向上に向けて

部会や月間ミーティングを活かして職員間の情報共有化を図り、相互の協力体制を強化していきます。

